



安善寺 坐禅堂扁額「獨坐」内田哉舟 様 揮毫

『獨坐大雄峰』

蔵王山安善寺

泰忍 弘

今号表紙の書は「獨坐」と読みます。この書は母の学生時代からの友人である内田哉舟様が揮毫されたものです。この作品は東京都美術館で開催されたNPO法人官公庁展に於いて東京都知事賞を受賞されました。此度この素晴らしい書をお寺にご寄贈いただき、坐禅堂に掲げさせていただきました。

「獨坐」とは漢字のまま一人で坐るという意味です。この「獨坐」に「大雄峰」という言葉を付けた「獨坐大雄峰」という禅語があります。自分は今ひとりここに坐っているという自覚。この場所で実地をふんでいるということです。「大雄峰」とは唐の禅僧百丈禪師の住した寺にある山の名前です。ある修行僧が百丈禪師に問いました、「如何なるか是れ奇特の事(この世の中で最も素晴らしい事は何ですか)」。すると百丈禪師は『獨坐大雄峰』と答えました。価値観というのは人それぞれです。

しかし突き詰めればやはり今ここにこうして元気に坐って呼吸をしていることが何にも代えがたく素晴らしいことであるということ、百丈禪師の自尊の表明でもあります。「獨坐」の扁額が掲げられ、坐禅堂で坐る坐禅が一段と引き締まる思いです。さて、今号の特集記事にも

◆編集・発行人◆
近藤真弘
〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811
◆スタッフ◆
小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉
山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子
近藤久美子
印刷・株式会社印刷



ホームページ



Instagram



四天王寺様の蓮の花

「泥中の蓮」という言葉があります。蓮の花は泥から出てきますが泥に染まらず見事にきれいな花を咲かせます。これは煩惱の中でも仏法で清浄さを保つことができるということを蓮にたとえた仏教語でもあります。そんな四天王寺様の蓮の花を見ながら空襲にあい焼け跡の中その当時のご任職が、お檀家さんがその時を一生懸命生きたことが今日の素晴らしい寺院になったんだなと思いを巡らせました。我々も目先の欲や執着にとらわれることなく静かに今を大切に生きること、そのことに気づくことが心にきれいな花を咲かせることなのではないでしょうか。

ご家族の皆さままでご覧ください

【特集①】

花まつりについて

仏教会長 木曾 隆

五月五日晴天の暑い日、大手通りホコ天広場を会場に「第九十七回長岡市花まつり式典」が盛大に行われました。

コロナ禍の為、令和二年の花まつりは中止に追い込まれ、九十五回花祭りは長永寺本堂で小規模で行いました。昨年九十六回はアオーレなかまを会場に行いましたが、

僧侶中心でお稚児様の参加もなく寂しい花まつりでした。ようやく今年九十七回を迎えた伝統ある長岡市花まつりが帰ってきました。三十余名

の僧侶、三十名のお稚児様とその家族、またボーイスカウト、ガールスカウト、立正佼成会員、さらに裏方としてお手伝いを頂いた業者の方々など、にぎやかなお練りと花まつり式典、稚児お育て法要が行われました。

花まつりはお釈迦様のお誕生をお祝いする行事です。今から約二五〇〇年前インドのカピラ国の王子として生まれたお釈迦様は「私のいのちは世界でただ一つのかげがない尊いいのちである」

と宣言されました。これは仏教の最も大切な教えです。すべてのいのちが平等で願いがかけられている尊いいのちであることに気づきなさいと言われているのです。そしてお釈迦様は八十歳で涅槃に入られるまで、私たち一人一人に平和の尊さや正しい生き方を示されました。

しかし今、自己中心で欲望のままに生きている私たちの住む地球は、人間の様々な行為により環境破壊が進み、大災害や戦争、食糧危機、貧困

など危機的な状況になっています。今こそお釈迦様のみ教えを多くの人々に伝えていかなければなりません。人間だけではなく全てのいのちが平等で尊い、すべてのものは関わりあって成り立っているという縁起の思想こそが地球を救う教えではないでしょうか。

科学技術の発展は私たちの生活を飛躍的に豊かに、便利なものにしました。しかし一方で人間の果てしない欲望が

多きいのちを絶滅に追い込み、自然を破壊し自らの足元が崩れています。いくら医学が進歩し、科学が発展しても、二五〇〇年前お釈迦様が説かれた「人生は苦である」、「生老病死」のいのちは変わりません。思いどおりにならない人生、必ず訪れる老病死を見つめたとき、お釈迦様のお誕生をお祝いする花まつりを契機として、説かれたみ教えを広めて行こうではありませんか。

科学技術の発展は私たちの生活を飛躍的に豊かに、便利なものにしました。しかし一方で人間の果てしない欲望が

多きいのちを絶滅に追い込み、自然を破壊し自らの足元が崩れています。いくら医学が進歩し、科学が発展しても、二五〇〇年前お釈迦様が説かれた「人生は苦である」、「生老病死」のいのちは変わりません。思いどおりにならない人生、必ず訪れる老病死を見つめたとき、お釈迦様のお誕生をお祝いする花まつりを契機として、説かれたみ教えを広めて行こう

ではありませんか。

多きいのちを絶滅に追い込み、自然を破壊し自らの足元が崩れています。いくら医学が進歩し、科学が発展しても、二五〇〇年前お釈迦様が説かれた「人生は苦である」、「生老病死」のいのちは変わりません。思いどおりにならない人生、必ず訪れる老病死を見つめたとき、お釈迦様のお誕生をお祝いする花まつりを契機として、説かれたみ教えを広めて行こう

ではありませんか。

多きいのちを絶滅に追い込み、自然を破壊し自らの足元が崩れています。いくら医学が進歩し、科学が発展しても、二五〇〇年前お釈迦様が説かれた「人生は苦である」、「生老病死」のいのちは変わりません。思いどおりにならない人生、必ず訪れる老病死を見つめたとき、お釈迦様のお誕生をお祝いする花まつりを契機として、説かれたみ教えを広めて行こう

ではありませんか。

多きいのちを絶滅に追い込み、自然を破壊し自らの足元が崩れています。いくら医学が進歩し、科学が発展しても、二五〇〇年前お釈迦様が説かれた「人生は苦である」、「生老病死」のいのちは変わりません。思いどおりにならない人生、必ず訪れる老病死を見つめたとき、お釈迦様のお誕生をお祝いする花まつりを契機として、説かれたみ教えを広めて行こう



大手通ホコ天広場の会場風景



にぎやかなお練り



花まつり式典と稚児お育て法要



ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さん



誕生仏に甘茶をかけて子供の身体健全を願う

【特集②】

子どもの未来応援プロジェクト「たすけ愛・食でつなぐ未来」

新潟県フードバンク連絡協議会

▼フードバンクの沿革

フードバンクが担う社会的役割は時代とともに変化してきました。食糧品の提供による生活困窮者支援を標榜したフードバンク第一世代。加えて、食品ロス削減やSDGsを標榜したフードバンク第二

世代。

そして現在、社会的ニーズに応じて被支援者への直接的な食支援を通じ、多様な悩みに気づき・声をかけ・話を聴いて・必要な支援につなげ・見守り、ゆるやかな伴走支援に取り組みとともに、行政の



食べる幸せをみんなで分かち合うフードドライブ



寄せられた支援品の数々



運搬・仕分け・配布作業

施策や企業の社会貢献活動、地域コミュニティやNPOなど多様な組織との協働を促進し、中間支援組織として機能するフードバンク第三世代へと進化・発展してきました。

▼コロナ禍の課題と対応

3年間に亘る新型コロナウィルス感染症拡大や近年のウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰の影響などにより、社会的孤独・孤立や経済的困窮など、生活上の新たな困難を抱える人々が増え、特に頼り先の少ないひとり親家庭等においては日常生活が失われ複合的なリスクが深刻化しました。

その様な社会情勢の中、当会では『子どもの未来応援プロジェクト』と銘打ち、ひとり親家庭等生活困窮世帯の子どもへ食糧品や学用品・生活必需品などの緊急支援に取組み、2020年4月の活動開

始以来、現在まで7,000世帯を超える世帯へ援助を繋げてきました。

▼アフターコロナ

今年5月に新型コロナが5類感染症に移行し、国内景気が改善する中、頼れる縁故もなく安定した雇用も得られず、孤立と貧困が固定化したひとり親家庭等においては経済回復から取り残され、益々拡がる社会的な格差地獄に苦しんでいる世帯は少なくありません。

そこで今年度、当会では『Triple Aid Project (トリプルエイド プロジェクト)』を立ち上げ、格差解消に向けた3事業を重点施策として取り組む方針です。

- ① Quest Aid (クエスト エイド) 子どもの探求活動・学習援助
- ② Career Aid (キャリア エイド) 保護者のリスクリング・就労援助
- ③ Food Aid (フード エイド) ひとり親家庭への食糧品等援助

子どもの命を守り、育ちを支えるとともに、社会的・経済的に厳しい生活を余儀なくされるひとり親家庭等の親子に対する血の通った援助活動に、今後ともお気持ちを寄せ続けていただければ嬉しく思います。

▼援助協力の方法3点

- ① フードドライブへの協力.. お米やお餅、乾麺や缶詰、レトルト食品や調味料、お菓子等食品をお寄せください。
- ② 志金寄付.. 援助を継続するための活動資金をお寄せください。

《志金(寄付金) 振込口座》
新潟県労働金庫 (2965)
／三条支店 (345) / 普通
5728693
名義.. ニイガタケンフード
バンクレンラクキョウギカイ

③ ボランティア参加.. フードドライブやフードパントリー等活動における運搬や仕分け等作業にご協力ください。
《問合せ・申込み先》事務局
Tel & Fax 0256-34-8060
E-mail: info@nigata-fblc.org

シリーズ第7回
旅に
行きたい!!
特別編

行ってきました!!

曹洞宗三大祈禱寺「可睡齋」と「伊勢神宮」の旅

新潟ビーエス観光 飯泉 隆史

6月に入り今年もあつという間に後半戦となりました。旅行も増え、毎日忙しい日々を過ごしています。昨年比べ、とてもありがたいことです。

早速ですがこの度は昨年の奈良の旅行に引き続き、今年計画致しました団体参拝旅行、曹洞宗の三大祈禱寺の一つ可睡齋(静岡県袋井市)と伊勢神宮を巡る2泊3日の旅行についてお話ししたいと思います。



参拝旅行初日「可睡齋の風鈴祭り」



参拝旅行2日目「伊勢神宮」



参拝旅行3日目「四天王寺」

昨年に出発直前でご住職に参加できない不運がありました。今年は何とか無事に参加。龍穩院様・龍昌庵様との合同での旅行は総勢15名。安善寺様を出発し関越道からまず静岡方面へ、昼食は足柄SAにて自由昼食、その後焼津にある日本一の千手大観音をご本尊とする大覚寺を参拝し、可睡齋へ向かいました。

精進料理が有名なお寺で、今まで私が泊まった宿坊の中では味、量、見た目ともに一番です。繊細な味付けや盛り付けはとても感銘を受けました。また典座和尚(料理長)の小金山泰玄さんは安善寺様ともご縁のある方でいらつしやいます。風鈴祭りの最中で、境内や御庭には沢山の風鈴が飾られ、風が吹くたびに鈴の音が心を癒してくれました。

クルーズです。鳥羽に着くとまずは二見プラザにて海鮮ちらしと伊勢うどんのご昼食。ガイドの多田さんご案内で夫婦岩と二見興玉神社へ参拝。そして伊勢神宮へ。伊勢神宮は内宮と外宮に別れており、まずは外宮にて参拝、その後内宮へ。五十鈴川にて手を清めて参拝致しました。内宮にはおかげ横丁をおはらい町という商店街があり、赤福の本店などもあります。そこで自由時間です。本日の宿は鳥羽温泉の戸田家。ゆつくりと温泉に浸かっていただき、夜は懇親会にて大変盛り上がりました。

最終日3日目は宿を出発し、津市にある四天王寺様を参拝致しました。ご住職の倉島隆行さんは全国曹洞宗青年会の会長の時に真弘さんと親交を深め、そして青年会で作成した映画「典座」の主人公を演じられました。その映画に真弘さんも出演しているのです。その映画に興味のある方は安善寺様までご連絡ください。本堂にて般若心経をお唱えし、お話を頂きました。また茶室に移動し、庭園を眺めながらお茶を頂きました。町中にありながら雑音一つなく心穏やかなひと時でした。また四天王寺様は織田信長の母、土田御前のお墓があることでも有名です。

参拝後、岐阜にある恵那峡山菜園にて昼食をいただき、安善寺様へ無事に到着いたしました。3日間お天気に恵まれ、楽しい旅行でした。ご参加された方、3日間お疲れさまでした。そして大変ありがとうございました。

来年は曹洞宗大本山總持寺を開創された瑩山禅師の七〇〇回大遠忌の特別な年となります。それに伴い来年は瑩山禅師大遠忌法要参拝の旅を計画しています。皆様には後日ご案内をさせていただきますので、この機会にご参加のほどよろしくお願い致します。

■旅のご相談・お申し込みは
新潟ビーエス観光まで
TEL 0258-34-4848



私と「ビビ」にできることは

愛嬌をふりまき家族に

癒しを届けることくらい



私の一日は窓際の特等席に

座り、小鳥達の大合唱を聴くことからは始まる。まったりと心地よい時間を過ごしていると、きまって邪魔をするのは妹のビビ。五月に一歳になり、ちよつと大人になった私と違い、ビビは暴れたい放題。部屋中をドタバタと走り回り、虫を見つけてはあちこち飛び跳ねている。全く性格の違う私達の共通点はベランダの扉の前を陣取ること。外に出たくていつも機会を狙っている



窓際の特等席に座る私(アン)

のです。

ある日いつものように定位にしていると大変なことを目撃することに。急な雨が降り、久美さんが慌ててベランダに向かったその瞬間！久美さんが転倒してしまつたのです。痛みにもがく姿は見ていられませんでした。病院に行つた結果、手を骨折、そして全身麻酔での手術となつたのです。痛々しい姿で帰つてきた久美さんは思うように動けないので家族みんなで助け合



暴れたい放題の妹の「ビビ」

です！じいじとばあばはお寺

の用事の上に子供達のお世話で大忙し、住職は子供達のスケジュール管理や私達とうさぎの世話。しかもこの度はお寺の三男坊、祥ちゃんにも助けにきてもらいました。身体とは逆に、久美さんは舌好調で指示出しをするので、最初の頃はすぐに駆けつけた子供達ですが、何度も名前を呼ばれるうちにその足がだんだんと重たくなってきています。それでも一生懸命手伝う姿は優しさであふれています。

今回久美さんが巻き起こした大騒動は結果、普段見られない子供達の姿や、改めて家族の優しさに触れた貴重な日々となつたようです。私とビビにできることといえば愛嬌をふりまき家族に癒しを届けることくらい。かわいさビーム発射だニヤーン!!

編集 雑感

今回の編集会議で、編集委員の一人から、次の質問が出ました。「仏像には、どれくらいの種類があるのですか？」「そう言われてみると、どれくらいあるのでしょうか？全く見当が付きません。」

御住職様から簡単なお説明がありました。まずは基本的な種類に分かれるとのこと。

例えば、「如来」、「菩薩」、「明王」、「天」。確かに具体的に「阿彌陀如来」、「観音菩薩」、「不動明王」、「帝釈天」と言われれば、なるほどと分かります。

さらに御住職様からのご説明では、安善寺にもかなりのご仏

像が安置されているとのこと。これまでお寺の本堂や奥の山堂にお参りしていても、ご仏像一体、一体に関心を持って見えてはいませんでした。

安善寺ホームページ内での仏像紹介では、安置されている中で、「聖観音菩薩」像は安善寺では一番歴史のある仏さまで、制作年代は、推測では1,500年代中頃の作と紹介されています。

人々を常に観て、救いの声があれば、姿かたちを変えて救済される観音さまのことです。

かつて高校時代に友人が、和辻哲郎の「古寺巡礼」読後の気持ち聞かせてくれたのを思い出しました。

「自分たちは、今、古いお寺や仏像を見ているが、出来上がった当時の仏像は、金色や鮮やかな彩色を施され、本当にきれいだつたらうなあ」と。仏像には、それぞれの、いわれ、由緒、由来、そして美術品としての鑑賞価値があると思えます。仏像が作られた当時の時代に思いを馳せるのも、ひとつの楽しみ方かと思えます。

今度、お寺さまへのお参りの際や、博物館などでは、改めて関心を持って拝観したいと思えます。

(山内 芳次)

お便り原稿用紙

皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。

FAX 0258-32-2870

〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com

HP にも申込フォームがあります